



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月7日

上場会社名 東洋合成工業株式会社
 コード番号 4970
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

(氏名) 木村 有仁

(氏名) 多木 宏行

(TEL) 03-5822-6170

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,589	10.6	760	28.0	781	47.0	542	48.0
2020年3月期第1四半期	5,958	7.4	594	49.4	531	22.2	366	31.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	68.38	—
2020年3月期第1四半期	46.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	41,282	11,037	26.7
2020年3月期	39,130	10,569	27.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 11,037百万円 2020年3月期 10,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	2.5	1,150	△1.6	1,120	5.2	780	12.5	98.27
通期	25,000	2.2	1,950	△10.7	1,870	△9.3	1,260	△32.0	158.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想の修正につきましては、本日(2020年8月7日)公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,143,390株	2020年3月期	8,143,390株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	206,307株	2020年3月期	206,276株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	7,937,098株	2020年3月期1Q	7,937,197株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる状況及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続き、外出自粛、内需・外需の下振れなどにより、失業率も上昇し景気は大きく下振れし、世界経済においても米国や欧州を中心に同様の状況が続いています。

また、経済活動の停滞が世界規模で進行していることに加え、米中対立、原油相場、各国・地域における動向、為替相場の先行きなど、注視が必要なリスクが継続しております。

一方、電子材料業界においては、AI、IoT、5G等の情報通信技術の普及、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けテレワーク・動画利用の拡大、データセンターや通信システム向け先端半導体の好調が続きました。

このような状況のもと当社は、在宅勤務や時差出勤の推進、不要不急の外出や社内外へ出張を極力見合わせると共に、オンライン会議等を積極的に活用し、事業活動を継続して参りました。

各種対策による制約が伴うなか、当第1四半期累計期間における売上高は、従来からのお客様との関係強化、積極的な拡販への取り組みに加え、在宅需要拡大による半導体・電子材料需要の増加を背景に6,589,347千円(前年同期比+631,340千円、+10.6%)となりました。

さらに利益面につきましても、売上高の増加に加え、先端分野の高付加価値製品の増加、コスト上昇の抑制に努めたこと等により、営業利益は760,787千円(前年同期比+166,284千円、+28.0%)、経常利益は781,117千円(前年同期比+249,702千円、+47.0%)、四半期純利益は542,765千円(前年同期比+175,977千円、+48.0%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【感光性材料事業】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ディスプレイ市場はやや減速がみられたものの、半導体市場は世界的な在宅者増加に伴う通信需要の増大と先端半導体の生産増加が続き、新規ポリマー製品、メモリ用途の先端製品、ロジック用途のEUV露光用を含む先端製品の売上がいずれも大きく拡大致しました。

この結果、同事業の売上高は3,680,767千円(前年同期比+185,661千円、+5.3%)、営業利益は543,255千円(前年同期比+154,109千円、+39.6%)となりました。

【化成品事業】

電子材料関連は、スマートフォンや自動車の販売台数減少の影響はあったものの、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染予防に伴い在宅勤務などの広がりによるデータセンター向け需要の増加や5Gの本格始動によるメモリ市況の回復の徴候が見られ、売上は増加致しました。

香料材料関連は、品質の安定化および安定供給に努めたことに加え、海外の香料メーカーを中心に販路を拡充致しました。また、当社の販売先である香料メーカーにおいても新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、日用品向けの需要が堅調であったことから、売上は増加致しました。

ロジスティック関連は、国内の溶剤需要が鈍化した影響を受けてタンク回転率に若干の落ち込みが見られたものの、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は2,908,579千円(前年同期比+445,678千円、+18.1%)、営業利益は217,532千円(前年同期比+12,174千円、+5.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は41,282,748千円となり、前事業年度末比2,152,231千円の増加となりました。

流動資産は16,718,334千円で、前事業年度末比1,215,227千円の増加となりました。これは現金及び預金449,110千円の増加、受取手形及び売掛金231,318千円の増加、商品及び製品260,804千円の減少、原材料及び貯蔵品305,074千円の増加によるものであります。

固定資産は24,564,414千円で、前事業年度末比937,003千円の増加となりました。これは主に取得による増加1,600,844千円、減価償却による減少555,530千円によるものであります。

流動負債は17,950,345千円で、前事業年度末比859,914千円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金482,198千円の増加によるものであります。

固定負債は12,295,353千円で、前事業年度末比824,558千円の増加となりました。これは主に、長期借入金802,284千円の増加によるものであります。

純資産合計は11,037,049千円で、前事業年度末比467,758千円の増加となりました。これは主に四半期純利益542,765千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2020年5月12日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2020年8月7日）に公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,663	4,031,774
受取手形及び売掛金	4,654,794	4,886,113
商品及び製品	5,498,753	5,237,948
仕掛品	164,902	212,926
原材料及び貯蔵品	1,355,922	1,660,997
その他	250,777	693,604
貸倒引当金	△4,707	△5,030
流動資産合計	15,503,106	16,718,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,637,405	7,481,740
機械装置及び運搬具(純額)	4,749,290	4,484,470
土地	4,835,945	4,835,945
建設仮勘定	4,336,542	5,712,069
その他(純額)	553,770	548,269
有形固定資産合計	22,112,955	23,062,497
無形固定資産		
その他	407,099	499,044
無形固定資産合計	407,099	499,044
投資その他の資産		
その他	1,107,355	1,002,872
投資その他の資産合計	1,107,355	1,002,872
固定資産合計	23,627,410	24,564,414
資産合計	39,130,517	41,282,748
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000,593	3,482,791
短期借入金	5,750,000	6,500,000
1年内返済予定の長期借入金	3,121,933	3,186,112
設備関係未払金	3,448,149	3,297,002
未払法人税等	463,172	135,709
賞与引当金	553,878	278,027
その他の引当金	43,038	9,962
その他	709,666	1,060,739
流動負債合計	17,090,431	17,950,345
固定負債		
長期借入金	9,316,529	10,118,813
退職給付引当金	1,539,869	1,560,002
役員退職慰労引当金	68,085	70,565
その他	546,310	545,971
固定負債合計	11,470,794	12,295,353
負債合計	28,561,225	30,245,698

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	7,492,657	7,956,051
自己株式	△89,550	△89,748
株主資本合計	10,563,584	11,026,781
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,611	10,268
繰延ヘッジ損益	1,095	—
評価・換算差額等合計	5,706	10,268
純資産合計	10,569,291	11,037,049
負債純資産合計	39,130,517	41,282,748

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,958,007	6,589,347
売上原価	4,615,386	5,070,734
売上総利益	1,342,620	1,518,612
販売費及び一般管理費	748,117	757,824
営業利益	594,503	760,787
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2,855	3,431
受取家賃	6,351	6,161
受取保険金	—	35,551
その他	11,115	14,254
営業外収益合計	20,324	59,399
営業外費用		
支払利息	31,056	29,598
為替差損	48,416	5,800
その他	3,940	3,671
営業外費用合計	83,413	39,070
経常利益	531,415	781,117
特別利益		
固定資産売却益	—	263
特別利益合計	—	263
特別損失		
固定資産除却損	2,915	11,701
特別損失合計	2,915	11,701
税引前四半期純利益	528,500	769,679
法人税、住民税及び事業税	46,238	116,623
法人税等調整額	115,473	110,290
法人税等合計	161,712	226,913
四半期純利益	366,787	542,765

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社では、新型コロナウイルス感染症の拡大は経済や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、現状1年程度その影響が続くものと想定しております。当該仮定に基づき、繰延税金資産の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っており、前事業年度からの重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,495,106	2,462,901	5,958,007	—	5,958,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	66,556	66,556	△66,556	—
計	3,495,106	2,529,457	6,024,563	△66,556	5,958,007
セグメント利益	389,145	205,358	594,503	—	594,503

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,680,767	2,908,579	6,589,347	—	6,589,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	66,217	66,217	△66,217	—
計	3,680,767	2,974,797	6,655,564	△66,217	6,589,347
セグメント利益	543,255	217,532	760,787	—	760,787

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。